

# シリコーンゴム印象材による咬合印象法に関する基本的な考え方 (保険診療に係わる適用として)

公益社団法人日本補綴歯科学会

## 1. 本印象法の特徴

- 1) 支台歯と対合歯列を咬頭嵌合位において同時に印象採得
- 2) 印象採得と咬合採得に要する時間の短縮と簡便化
- 3) 咬合器上における咬頭嵌合位の正確な再現
- 4) 咬頭嵌合位での咬合調整に要する時間の短縮と金属削除量の軽減
- 5) 偏心位での咬合調整は歯冠修復物製作後にチェアサイドで実施

## 2. 適応症と禁忌症

本印象法が適用されるのは以下の条件をすべて満たす症例であり、1つでも条件に合致しない場合は適用できない。

- 1) 単独冠に対する支台歯形成後の印象法であること (インレーは対象外)
- 2) 咬頭嵌合位が明確
- 3) 1/3 顎程度の範囲の印象で補綴装置の製作が可能
- 4) 歯冠修復物装着部以外に左右側それぞれ1か所以上の咬合支持域が存在
- 5) 印象材硬化まで咬頭嵌合位での閉口保持が可能

## 3. 基本的手技

- 1) 支台歯形成、歯肉圧排など印象採得の準備
- 2) 咬合印象用トレーの試適と閉口位の確認
- 3) 印象採得と咬頭嵌合位での閉口保持 (図1)
  - \*シリコーンゴム印象材ライトボディ (インジェクション) タイプとパテタイプ、もしくはライトボディ (インジェクション) タイプとミディアムボディ (レギュラー) タイプによるダブルミックス印象
- 4) 印象材硬化後に咬合印象用トレーと印象体を口腔内から撤去 (図2)
- 5) 支台歯の印象面に模型材を注入
- 6) 対合歯列側の印象面に模型材を注入 \* 5) の硬化後に実施
- 7) 咬合器への模型装着 (図3)
- 8) 咬合印象用トレーを模型から撤去
- 9) 歯型分割、トリミング
- 10) 歯冠修復物の製作
- 11) 歯冠修復物の口腔内調整と装着



図1 印象採得

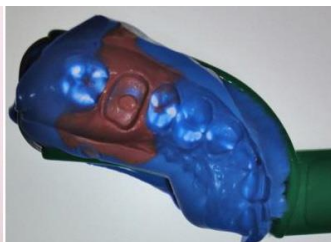


図2 撤去した印象体

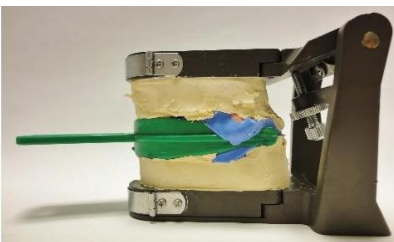


図3 咬合器への模型装着